

地域資源を活用した新たな商品開発

会社名 株式会社岩手くずまきワイン
 所在地 岩手県岩手郡葛巻町江刈1-95-55
 従業員 35名
 資本金 9,800万円
 売上高 4億円
 業種 果実酒、清涼飲料水、山菜、果実の加工製造



(株)岩手くずまきワイン

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 新商品の「発酵レーズン」の製造販売の立上げ
- 知財マインドの醸成

支援を受けてできるようになったこと

After

- 新商品の商品コンセプトやターゲット層についての方向性を固めた上で、商品名が具体化し商品化に向けて動き出した。
- 権利化、及び知財管理体制が構築された。

今後の事業展開の展望

Future

- 新商品の大量生産体制の確立、生産・事業・販売計画の立案、情報発信等の販売PRの実践と販売網の確立について継続的に支援。
- 構築した知財管理体制の具体的な運用、職務発明規程の策定運用について継続的に支援。

重点支援を受けた事業や商材



ワイン酵母による「発酵レーズン」

ワイン醸造用酵母を用いた世界初のワイン風味の発酵レーズンを開発。ワイン酵母発酵は、他の酵母(清酒、ビール)に比べて発酵力が早く・安定しているため、雑菌が少なく、香りが良い。また、レーズン特有の匂いがマスキングされ、ワイン風味の香りがするとともに、レーズンの皮を軟化させることができる。アルコール濃度については、1~8%まで調整可能である。

【出典】岩手くずまきワインホームページ
<https://kuzumakiwine.co.jp/>

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業・開発戦略の支援	主力製品とは異なるカテゴリー商品であり、既存商品を含めた事業開発戦略や損益戦略が未整備。また、開発が継続段階であり、開発における課題とその対応が明確になっていない。商品コンセプトやターゲット層が明確化されていない。
知財戦略立案支援	開発中の新製品が知財権で保護されておらず、知財戦略(オープンクローズ戦略を含む)が未整備。また、ドライフルーツの酵母工程のノウハウ管理が不充分
デザイン支援	パッケージデザインやロゴなどが未整備、HPに統一感が無く、カタログ的でユーザー目線に立ったものではない
知財マネジメント体制構築支援	知財マネジメント管理体制が整っておらず、社内の知財啓発・人材育成がなされていない

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用した専門家
事業・開発戦略の支援	<ul style="list-style-type: none"> ブランディング確立のための手法が理解できた。 PR戦略としては商品コンセプトを基にメインターゲット、サブターゲットを設定するという手順を理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング専門家 デザインブランド専門家
知財戦略立案支援	<ul style="list-style-type: none"> 特許について学び、権利化を念頭に組成や構造上の特徴点確認の必要を理解し、その要素を抽出できた。 先行技術調査の重要性を確認し、実際に外部機関を活用して調査を実施。 特許クリアランスのうえ特許出願。 	<ul style="list-style-type: none"> 弁理士
デザイン支援	<ul style="list-style-type: none"> 商品コンセプトを整理し、ターゲットを明確にした上で、商品のネーミング、パッケージデザイン、マーケティングプラン等を明確化することを共有できた。 商品の特徴点、ターゲットについてブレインストーミングを行い、パッケージやネーミング、売り方などのアイデア議論し、方針、候補を決定することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング専門家 デザインブランド専門家
知財マネジメント体制構築支援	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の知財マネジメントとして、①知財担当者を配置、②定期的に知財を考える機会をもつことが重要であることを認識。 職務発明規程のポイントについて原案まで作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 弁理士

支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士 村雨圭介

活用専門家:ブランド専門家、マーケティング専門家

知財総合支援窓口担当者:岩手県知財総合支援窓口 酒井俊已

PO(プログラムオフィサー):山村正明